

【犬島精錬所美術館】

…(現地説明用原稿メモ)

(全体概要)

(…ベネッセアートサイト直島のホームページより抜粋)

犬島精錬所美術館は、犬島に残る銅製錬所の遺構を保存・再生した美術館です。「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトのもと作られた「精錬所」は既存の煙突やカラミ煉瓦、太陽や地熱などの自然エネルギーを利用した環境に負荷を与えない三分一博志の建築と、日本の近代化に警鐘をならした三島由紀夫をモチーフにした柳幸典(ヤナギユキノリ)の作品、また植物の力を利用した高度な水質浄化システムを導入しています。「遺産、建築、アート、環境」による新たな地域創造のモデルとして、循環型社会を意識したプロジェクトといえます。

- (▶余談:浄化システム…草木→草食→肉食→屍→微生物分解→雨→土→濾過→川→海・エキス→水蒸気→雨→草木)
- (▶余談:三島由紀夫…官僚家族→過保護→東大法科→大蔵省→作家(自衛隊)男の美学、国家のために命を犠牲)

(建物概要)

規模:木造平屋、789㎡ …2010年日本建築大賞

特徴:近代化遺産である銅の精錬所跡を保存、再生し美術館として残す。

自然エネルギーで冷暖房、太陽、地熱、気候を活用、また銅精錬所の副産物のカラミ煉瓦や、犬島石(花崗岩)、鉄を使用する。遺産の煙突も有効利用する。

(谷本流:設備の理解)

化石燃料を使わず、煙突を利用して自然エネルギーだけで空調する。

■夏は地熱(トンネルに凸凹)を利用して外気36℃→27℃へ冷やし

■冬は太陽熱での温室効果(ガラス張り)を利用して外気2℃→18℃まで暖め

その空気を、煙突のドラフトを利用して送風(~空調)するものである。 …◆全外気冷暖房

(▶余談:一般東京あたりの、地下5mでは夏15℃、冬18℃。また地下10mでは夏冬共15℃で一定)

(▶余談:ドラフトとは、中の空気が外気より高温、密度が低い、浮力が生じ下部の空気を引き入れながら上昇)

さらには、人の排便で、植物を育て、人が来るほど植物が育ち、シェード(影)が濃くなり(土が冷やされる)建物の冷却性能が増す設計とされている。(一般の常識では人が増えると負荷が増加するのがあたりまえ)また照明は精錬所(トンネル)内部に鏡を設置し、太陽光を取り込み、明るくしている。

(▶余談:谷本意見:太陽位置変化に対応して、凸面鏡で受けて凹面鏡で反射させ、直線は平面鏡で光を走らせる)

(考えさせられること)

…当時を想像してみてください

- ◆時代の要請で銅の需要が高まる(煙害、利便性により島に建設する→▲公害垂れ流し、問題視されにくい)
- ◆1909年に建設→▲人口が突然急増し、社宅が出来、飲食店が出来、▲娯楽施設まで出来る。(急激な繁栄)(最盛期の人口6000人、内従業員2000人)→2010/10/01:35世帯◆54人(面積0.54km²≒USJと同じ広さ)
- ◆その後、銅が暴落、わずか10年しか稼働せず(操業中止となり)→すべてほったらかしとなり現在に至る)
- ◆一気におおあり、仕事は激務、体を壊す、亜硫酸ガス、廃水中の酸性物質、重金属紛、等の鉱毒問題。
→今でも海岸には黒いスラグがいっぱい有ります(自然のものでは有りません:気味悪い)。

(別途:参考) 足尾銅山(栃木県)1877~1973年に閉山

(原因企業:古河鉱業→現在の古河機会金属…ウイキペディアより)

日本の公害問題の原点とも言われる鉱毒事件である。

銅の精錬時に発生する鉱毒ガスによる酸性雨で、樹木を失い禿山となり、山肌が崩れ、その土砂が渡良瀬川の下流に堆積し、足利市で天井川となり、大洪水をたびたび引き起こす。

また化学物質は渡良瀬川に流れ込み、魚(アユ、フナ、コイ)の大量死を招き、流域の農産物(稲の立ち枯れ)に大被害を与えた。(鉛やカドニウムが検出される)

1899年の鉱毒による死者・死産は推計で1064人とも言われている。

◆田中正造という栃木の政治家が、この鉱毒事件に立ち向い、死去したときは財産をすべて使い果たし無一文だった。(当時は武士:モノノフが居た)

(何が大切か)

…現地を見て肌身で感じて、じっくり考えて下さい。

この後、『豊島産廃不法投棄現場』へ見学に行きます(当協会での、ゴミ関係では3例目です)

一人のならず者がある日、島に持ち込み始めたゴミによって瞬く間に60万トンもの異臭を放つゴミの山となる

(→その裏には非合法組織→そしてその裏には依頼する大企業、及び社会構造のしくみ、人のエゴが有るのでは?)

【人類へのヒント…◆猛省出来ますか】

■余談(プチ自慢)

私は単身赴任ですが、スーパーで賞味期限ギリギリの物を買います。

それは、パン、牛乳、弁当などで、確実に私が今夜から明日には食べる物です。

買わなければ、明日ゴミとなり、人手と運賃を使い移動し、燃料を使ってまで焼却処分(CO2、温暖化)となります。

もし今、その前にそれを(ギリギリの物)買ってやれば、地球にやさしく、

おまけに、それは割引(半額)でもあり、お財布にまでやさしくなります。

…そんな自分になったことが、少し自慢です。